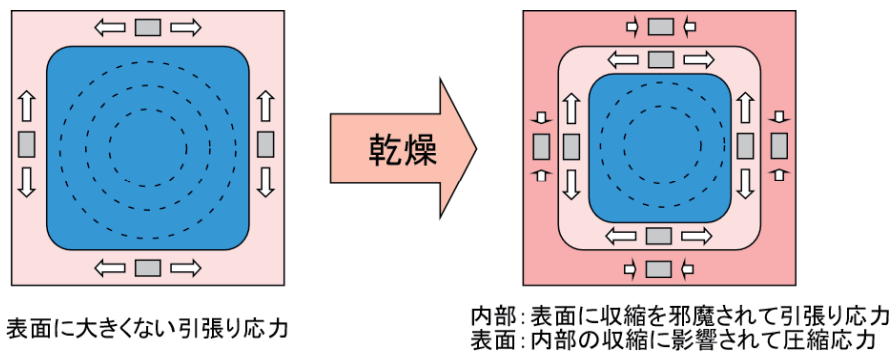
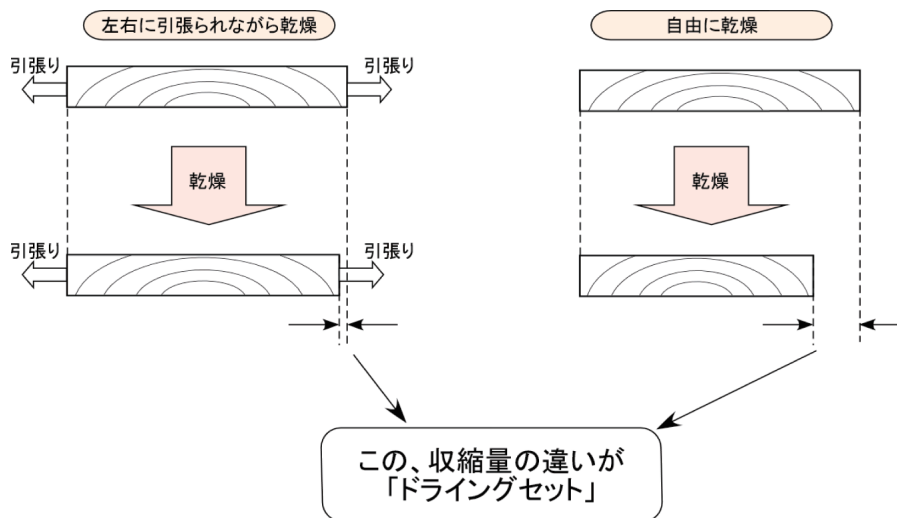


Q.01 なぜ材面割れを抑えられるの？

A.01

心持ち材の表面を柔らかくして水分を取り除くため、乾燥しても収縮が小さく、表面が割れにくくなります。



- ①心持ち材の表面が高温で柔らかくなります。
- ②表面が乾いて収縮しますが、まだ乾いていない内部の細胞に邪魔されて接線方向に引張られながら乾燥します。(上図左と同じ)
- ③表面は乾燥してもあまり縮まないで、引張り応力が小さく、割れません。
- ④その後、内部が乾燥すると、内部の細胞も縮もうとするので、あまり縮まなかった表面の細胞と一緒に縮もうとします。
- ⑤表面の細胞はすでに乾いており、簡単には縮みません。このため、内部の細胞の収縮にもなって、接線方向に圧縮されることになり、より割れにくくなります(応力の逆転と呼ばれます)。